

## 質問回答

2015年2月17日

(案件名)「インドネシア国プロジェクト効果発現のための能力強化に係る情報収集・確認調査」  
(公示日:2015年2月4日)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	第2 業務の目的・内容に関する事項 3. 相手国関係機関	調査対象となる実施機関のひとつとしてジャカルタ特別州があげられているが、業務指示書とともに配布された実施中円借款案件リストにはジャカルタ特別州が実施機関である案件はありません。リストに掲載されている案件のうち、ジャカルタ特別州が実施機関となっている案件をご教示ください。	ジャカルタ都市高速鉄道(I)の実施機関は運輸省鉄道総局ですが、Implementation Agency がジャカルタ特別州となっております。規模的に大きな案件かつ円借款を初めて実施していることもあり、特出ししました。
2	第2 業務の目的・内容に関する事項 6. 業務の流れ (1) 第一次現地作業	インセプション・レポートの作成時の協議は、どのような方法(JICA ネット等)を想定されていますでしょうか。	協議の形態としては、東京本部とTV 会議をつないで協議することを考えております。
3	同上	「今後の業務方針にかかる、ローカルコンサルタント及び…」とあるが、ローカルコンサルタントとは受注者が雇用するローカルコンサルタントのことでしょうか。	ご理解の通りです。 ローカルコンサルタントを雇用しない場合は、ローカルコンサルタントとの協議は必要ありません。
4	第2 業務の目的・内容に関する事項 6. 業務の流れ (1) 第二次現地調査	「ワークショップを開催することも可能。」とあるが、これは第三次現地調査で予定されている研修(ワークショップ)の一部を前倒しで実施することも可能という意味か。	5. 業務の内容 (2)にある、ボトルネックの共有に際し、“ワークショップ実施”という手法で実施することも可能という意味で、研修という意味合いではありません。また、必ずしもワークショップを実施する必要もありません。効果的な実施方法をご提案頂ください。

5	<p>第2 業務の目的・内容に関する事項</p> <p>6. 業務の流れ</p> <p>(6)第三次現地調査</p>	<p>インドネシア国内の研修の実施にあたって「コンサルタント等契約における研修実施ガイドライン(2014年4月版)」に準ずるとありますが、同ガイドラインで求められる「研修候補者の決定」「研修詳細計画の作成」「研修業務完了報告書提出」等の事務手続きを実施する必要がありますでしょうか。それとも事前手続きは不要で、研修内容はDF/Rにて報告するという対応で宜しいでしょうか。</p>	<p>「研修候補者の決定」「研修詳細計画の作成」はインテリム・レポートに含めていただければ結構です。「研修業務完了報告書提出」はDFRの中に含まれます。具体的な事務手続きとしては必要ありません。</p>
6	同上	<p>ここで想定されているワークショップは規模からいっても開催方法によって相当費用に差が出るのが予想されます。特に会場費、食事については、どの程度のものを想定すれば良いでしょうか。</p>	<p>積算の想定上、約50名の研修はJICA事務所の会議室使用を想定しています。約100名の研修では、会場の一例として比較的安価なホテル等(例:Atlet Century Park Hotel等)を想定ください。</p> <p>食事については、1日の会議の場合、昼食を計上ください。(華美でないもの。事務所の会議室の場合は弁当可。)</p> <p>1日の会議は、約100名の会議で1回、約50名の会議で2回とします。</p>
7	同上	<p>インドネシア国内での研修(ワークショップ)の想定として「100人規模2回、50人規模3回。1回半日～全日。すべてジャカルタで開催。」との記載があるが、以下の点につきご教示ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ジャカルタ以外からの参加者は想定されますか。想定される場合、どこから何名程度の参加が想定されますか。</li> <li>2) 100人規模の研修(ワークショップ)と50人規模の研修(ワークショップ)の違いは何か(目</li> </ol>	<p>研修先等は調査内でインドネシア側と協議頂いた上で決定します。その点をご理解頂いた上で、以下ご参考にしていただければと思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 調査内容の結果及びインドネシア側の希望によるため、現時点ではジャカルタ以外の参加者の経費は見積りに計上不要です。</li> <li>2) 調査内容結果、インドネシア側希望によるため現時点では確定していません。</li> </ol>

		<p>的、テーマ、参加機関など) ご教示ください。</p> <p>3) 合計5回の研修(ワークショップ)が想定されているが、各回ごとの目的、テーマ、参加機関などの概要をご教示ください。</p> <p>4) 1回の研修(ワークショップ)に複数の実施機関・関係機関が参加するという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>3)調査の中でご提言いただく内容です。</p> <p>4)ご理解の通りです。</p>
8	<p>第2 業務の目的・内容に関する事項</p> <p>6. 業務の流れ</p> <p>(6)第三次現地調査</p> <p>(7)第四次国内作業</p>	<p>研修を実施する際には本邦及びインドネシア他から外部講師の派遣を想定してよいか。</p>	<p>外部講師の派遣は可能です。ただし、インドネシアで実施する研修では、日本からの講師派遣は想定しておりません。一方で、本邦研修へのインドネシアからの講師派遣も現時点では想定しておりません。</p>
9	<p>同上</p>	<p>研修監理員の備上は研修業務に係る経費として契約に含める想定でよいか。それとも貴機構側での計上の想定か。</p>	<p>費用に含めて頂きたい、お願いいたします。</p>
10	<p>第2 業務の目的・内容に関する事項</p> <p>6. 業務の流れ</p> <p>(7)第四次現地調</p>	<p>「本邦研修プログラム」の実施について、コンサルタントの業務範囲は、研修の、①受入、②研修実施、③研修監理、④研修実施報告のうち、②～④で、①受入については貴機構で実施するとの理解で宜しいでしょうか。</p>	<p>本件は JICA の研修事業ではなく、調査の中で研修も組み込んで行うものです。よって、受注コンサルタントは、①受入、②研修実施、③研修監理、④研修実施報告の全てを実施ください。</p>
11	<p>同上</p>	<p>本邦研修に関して、「一泊二日での仙台での国内視察及び東京近郊視察の可能性あり」とされているが、現時点で想定されている目的、及び訪問機関名(仙台と東京近郊それぞれ)があれば、ご教示ください。</p> <p>また、仙台での1泊2日以外の期間は東京拠点(JICA 東京所管)との想定か。</p>	<p>実際の研修先等は調査内でインドネシア側と協議頂いた上で決定頂きます。</p> <p>積算にあたっては「一泊二日」を想定してください。</p> <p>仙台での視察期間以外は東京拠点と想定ください。ただし、JICA 研修事業ではありませんので、JICA 東京の所管ではありません。受注コンサル</p>

			タントに研修の実施にかかるアレンジ等を全てお願い致します。
12	第2 業務の目的・内容に関する事項 7. 成果品等、(1)業務報告書、 2) インセプション・レポート(IC/R)」	2015年3月下旬提出とありますが、提出時期は正しいでしょうか。一方で「6. 業務の流れ(1) 第一次国内作業(2015年4月)」にインセプション・レポート作成作業が含まれております。	インセプション・レポートの提出日を、2015年4月下旬提出に訂正いたします。
13	第2 業務の目的・内容に関する事項 7. 成果品等、(1)業務報告書、 4)ドラフト・ファイナル・レポート(DF/R)及びそのまとめのパワーポイント資料、研修資料等」	2015年9月下旬の提出とありますが、F/Rが同じく「9月下旬提出」とありますので、9月上旬の提出ではないでしょうか。	ドラフト・ファイナル・レポートの提出は、2015年9月下旬のままとし、ファイナルレポートの提出日を2015年10月中旬に訂正いたします。
14	第3 業務実施上の条件 2. 業務量の目途と業務従事者の構成(案)	総括／組織分析・体制強化」、「研修計画・実施」の団員の現地への渡航回数、同数程度を想定していますか。	各々数回程度を想定しておりますが、より効率的・効果的な方法があれば、ご提案ください。
15	第3 業務実施上の条件 6. 現地再委託	『「5. 業務の内容」(1)に関する統計的な情報収集及び分析調査』について現地再委託を認めるとあるが、ここで「統計的な情報」として想定されている情報を具体的にご教示ください。	「統計的な」を削除し、「(1)に関する情報収集及び分析調査」に置き換えます。
16	その他	本件業務を実施するに際して、インドネシア側から執務スペース(デスク、棚、インターネット回線を含む。)が提供される予定はあるかご教示ください。	インドネシア側から提供の予定はありません。

以上